

2019 年度事業計画

事業区分	事業内容
テレビ番組 国際交流事業	<p>(1) 国際版テレビ番組の無償提供、提供支援</p> <p>① 日本の国際発信力強化の意義が高まる中、一般財団法人放送番組国際交流センター（以下、JAMCO）が独自活動として国際版のテレビ番組を開発途上国の放送機関に無償提供する活動の更なる強化に努める。このため、ABU（アジア太平洋放送連合）との連携を図りアジア太平洋諸国に提供を行うとともに、海外放送機関への働きかけを継続強化し中南米や東欧など幅広く発展途上国への提供を進める。</p> <p>② JAMCOが無償提供するテレビ番組について、国連総会の決議により認定された後発開発途上国については、提供先放送機関の現地語化経費の支援の試行を継続する。</p> <p>③ JAMCOの国際版番組を活用した、途上国での大学等による教育支援活動を継続する。</p> <p>④ 国際版提供・提供支援のため、JAMCOの活動や国際版テレビ番組ライブラリーについて、ホームページやABU総会など様々な手段や機会を活用し、内外に周知する。</p> <p>(2) テレビ番組の国際版制作と国際版の保管管理</p> <p>① テレビ番組の英語版制作 日本の現状や文化を幅広く紹介する番組のほか、教育、防災、環境、技術など日本の経験・取り組みを途上国の発展に生かす番組の国際版を制作する。日本と諸外国の相互理解の促進に加え、訪日外国人の急増に見られる日本への関心の高まりに応える点にも配慮する。</p>

② 英語圏以外の地域にも番組提供を促進するため、予算の状況を勘案して英語番組以外の多言語の国際版番組の制作を検討する。

(3) 国際シンポジウムの開催

コンテンツの高画質化が進むとともに、さまざまな事業者が映像配信に参入するなど放送と通信の融合が進むメディアの環境変化を踏まえたテーマを設定し、国際シンポジウムを開催し、テレビの役割や教育・文化・スポーツのあり方などについて現状と課題を展望する。

(4) テレビ番組に関する海外の動向調査

2地域4か国程度を対象に、各国の放送・編成の現状や視聴者のニーズ、メディア状況などを調査し、JAMCOの番組提供促進もあわせて行う。また2019年はABU総会が東京で開かれることから、JAMCOの独自ブースを設け効果的なPR活動を行う。